

7月15日から
8月15日は

平和を考える月間

津市では、戦争の悲惨さと平和の尊さを市民の皆さんに考えていただこうと、7月15日～8月15日を「平和を考える月間」と定め、さまざまな行事を開催します。

入場
無料

8月1日(土)

平和を考える市民のつどい

会場 津リージョンプラザ お城ホール 定員 先着順 各600名(整理券は発行しません)

午前部

[開場] 10時00分
[開演] 10時20分～12時00分

アニメーション映画

「火垂るの墓」

昭和20年6月から9月にかけて日本の敗戦をはさんだ約3か月の間に、戦争に翻弄された14歳の清太と4歳の節子という二人の兄妹がどう生きたかを描いた平和の尊さを訴える物語。

©野坂昭如/新潮社,1988



午後部

[開場] 12時30分
[開演] 13時00分～15時50分

01 平和講話：長崎市の被爆者の家族による被爆証言

長崎で被爆した故永井隆氏は、自身も大けがを負いながら、救護所を開設し原爆傷病者の救護に当たりました。孫の永井徳三郎氏による平和講話では、祖父から受け継いだ被爆体験や平和への想いをお話いただきます。

02 劇映画

「長崎—閃光の影で—」

原爆投下直後の長崎で、若き看護学生たちが負傷者の救護に奔走した。非情な現実の中で、それでも未来を諦めなかった少女たち。命の尊さそして生きる意味を問う実話に基づいた物語。



©2025「長崎—閃光の影で—」製作委員会

平和の折り鶴を募集

広島市平和記念公園内の「原爆の子の像」に捧げる平和の折り鶴を募集します。

【受付期間】 7月22日(水)まで
【受付場所】 人権課、
各総合支所地域振興課(生活課)

※折り鶴は1辺15cmまたは7.5cm程度の用紙を使用し、40羽を一組とし、羽根を広げないで、丈夫な糸(束ねる部分を35cm残す)に通したものが、千羽鶴にして提出してください。また、糸の端はビーズやストローを短く切ったもので留め、折り鶴が抜け落ちないように工夫してください。



VRゴーグルによる

原爆被害等の疑似体験コーナー

【日時】 8月1日(土)・2日(日)
10時00分～15時30分

【場所】 津リージョンプラザ
3階第7会議室

原爆投下時の悲惨さや復興した現在の広島の状況をVR(バーチャルリアリティ)映像で疑似体験(約5分)することができます。

入場
無料



原爆展

【日時】 8月1日(土)・2日(日)
9時30分～16時30分

【場所】 津リージョンプラザ 3階
生活文化情報センター(ギャラリー)

津市は日本非核宣言自治体協議会に加入し、非核平和に取り組んでいます。被爆の実相をより多くの方に知っていただくため、被爆後の広島・長崎の様子などの写真とその解説について、ポスター展示します。市内各地でも原爆展を開催します。



※開催日・場所等の詳細についてはホームページに掲載。

主催 津市

問い合わせ先 人権課 TEL 229-3165

津平和のための戦争展

津空襲等の資料展示と平和を願うイベント

【日時】 8月1日(土)・2日(日)
9時30分～16時30分

【場所】 津リージョンプラザ 3階
生活文化情報センター

入場
無料



主催 津平和のための戦争展実行委員会事務局

問い合わせ先 TEL080-7701-6431(亀井)

平和のための音楽会

児童合唱、混声合唱、邦楽合奏、ピアノ独奏、クラリネット独奏、ソプラノ独唱、テノール独唱

【日時】 8月2日(日) 13時30分～15時30分(開場13時00分)

【場所】 津リージョンプラザ お城ホール

【入場料】 協力券500円(定員600名)



主催 平和のための音楽会実行委員会事務局

問い合わせ先 TEL090-8863-9118(鈴木)